

■欧州：欧州委員会、原子力のストレステストの結果を公表

欧州委員会は 2013 年 3 月 7 日、福島事故を受けて実施された EU 域内の原子力発電所に対するストレステストの結果と、今後の方針を公表した。同委員会が域内の全原子力発電所を対象に共通の検査を行ったのはこのストレステストが初めてである。検査は洪水や地震、航空機墜落などを想定し、3 段階で行われた。第 1 段階では事業者が自己評価を実施、第 2 段階では各国当局が国別報告書を作成、第 3 段階では欧州原子力安全規制グループ（ENSREG）を中心に各国が相互に報告書を評価した。この結果、安全性を理由に閉鎖すべき原子力発電所は無かったものの、ほぼすべての原子力発電所で改善点が指摘された。各国では、2015 年までに改善計画の完了を目指しており、一部の国では既に改善に着手している。ENSREG は 2014 年 6 月までに計画の進捗状況を報告する予定であり、改善に要する費用は平均で原子炉 1 基当たり約 2 億ユーロ（約 246 億円）、EU 域内の全 132 基では最大で約 250 億ユーロ（約 3 兆 750 億円）に達すると見られる。欧州委員会は 2013 年中に、この結果を踏まえ、原子力安全に関する改正指令案を提案する予定である。